

平成30年度 学校経営計画

練馬区立石神井東中学校
校長 堀井安伸

1 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、社会性や人間性豊かな生徒の育成を目指し、次の目標を設定する。

思いやりの心を持てる人 自ら学び、考え行動できる人 心も体もたくましい人

2 学校経営のビジョン（中期経営目標）H29～H31

めざす 生徒像	<p>思いやりの心を持てる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の違いや良さを認めることができ、相手の立場や気持ちを思いやれる。 ・規範意識や社会性を身につけ、主体的に集団や地域、社会に貢献しようとする。 <p>自ら学び、考え行動できる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本の学習内容を確実に身につけそれを生活に活かそうとする。 ・他者と共に学び合い、課題を発見し解決していける力を身につけようとする。 ・自己の将来の夢や目標を明確に持ち、その達成のために積極的に学ぼうとする。 <p>心も体もたくましい人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの生活を管理し、心身を鍛え、健康と安全について常に意識する。 ・自己肯定感・自己有用感をもち、たくましく生きぬこうと努力する。
めざす 学校像	<p>人権教育の充実を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の充実および道徳教育を充実させ、豊かな心の教育を推進する。 ・生徒一人一人の心に寄り添える教育相談、特別支援教育の充実を推進する。 <p>学力向上を図るための授業力向上を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を根幹とした授業改善を図り授業力を高め学力向上を推進する。 ・「学び合い活動」および「指導方の進化工夫」の充実を推進する。 <p>主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感動できる学校行事の創造と部活動のさらなる充実を推進する。 ・進路指導および総合的な学習の時間を充実し自己実現の意欲の向上を推進する。 ・生徒会活動を活発化し生徒の主体性の向上と言語表現能力の確実な育成を推進する。 <p>豊かな人間性を育む生活指導を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の適正な人格形成の基盤となる基本的な生活習慣の定着を推進する。 ・生徒の規範意識を向上させ、社会人として必要な社会性の修得を推進する。
めざす 教師像	<p>学校経営に参画し、教育目標を具現化する努力をおしまない教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京都の教育に求められる教師像」を常に意識し向上心がある。 ・体罰等の服務事故を絶対に起こさないという強い意志をもち。 ・組織の一員としての自覚を持ち自己の責任を果たす。 <p>公平性、正当性、誠実性を重んじ、生徒、保護者から信頼される教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の見本となり尊敬される言動を心がけ人間として暖かみがある。 ・常に生徒理解に務め、生徒一人一人の実態に即した指導ができる。 ・常に生徒、保護者の心情を理解し粘り強く対応できる。 <p>危機管理意識が高く、専門性を磨き豊かな人間性を身につけようとする教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもち、常にその解決に困難な状況を乗り越えようとする。 ・常に自身のキャリアアップを目指し熱心に研修をする。 ・自身の心身の健康管理を心がけ職責に対して生き甲斐を持ち続ける。

3 本年度の経営方針

3年間の中期経営目標の2年目とする。これまでの実践によって得られた成果は、新たな伝統として築き上げることができている。それはに、特別活動・教育相談・人権教育の充実により、いじめ・不登校の減少等がある。そこで、これまでの得られた成果を踏まえ、さらなる教育活動の充実に向け、下記の目指す学校像4つの観点を重点目標とし、教育活動を推進していくこととする。

第一に、人権教育の充実を目指す

第二に、学力向上を図るための授業力向上を目指す

第三に、**主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実を目指す**

第四に、豊かな人間性を育む生活指導を目指す

この一つ一つにおいて先進的に研究し検証されている成功例を取り入れながら、本校独自の教育活動を確実にいき、教育目標（目指す生徒像）の具現化を図っていく。

特に、第三の「**主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実を目指す**」について、今年度も最重点目標としていく。「**石東中は未来の私の出発点**」を本校の**合い言葉**として確立し、全校生徒が将来をたくましく生き抜いていく基礎を培い、それぞれの分野で活躍することのできる基礎となる力を身に付け、夢や目標をもって自ら定めた進路先へと巣立っていく支援ができる学校にする。

また、地域の中にある学校として、地域住民や学校評議員・PTA 等保護者の教育力を発揮していただき、生徒を安心して通わせることのできる地域から信頼される学校づくりを進める。

さらに、新たに発生してくる課題解決に向け、明確な目標と具体的な手立てにより確実な実践を推進し、その結果に対する検証・分析を行うという PDCA サイクルを充実させ、確実に成果を上げることが重要である。その上で、学校全体の教育力（めざす教師像）を向上させ改善を図っていく。

そこで、本年度の経営方針を次のようにする。

<未来社会創造の主体者を育む学校づくり>

これを受けて、全ての教育活動を推進しつつ、**本年度の重点目標、達成基準、具体的な方策をもち全教職員の総力によって教育活動を確実に展開し成果を上げていくものとする。**

4 本年度の重点目標（短期経営目標）H30 <目標実現に向けた取り組み>

人権教育の充実

項目	結果目標	行動目標
いのちを大切にす る心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちの大切さについての理解度を100%にする。 ・いじめ発生率を減少させ早期解決により被害「0」にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのちの授業」を全校生徒対象に年1回以上実施する。 ・話し合い活動で全生徒に自覚をさせる。教師の発見、対応を早期に行う工夫。
道徳的心情の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業の充実度を80%以上にす ・人間関係力と集団の向上度80%以上にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の完全実施と授業内容の充実を図るための校内研修を年2回実施。 ・支援委員会の充実、全校でQU、アセスの実施と、アサーション等の活用。

学力向上を図るための授業力向上

項目	結果目標	行動目標
授業力の向上 (<u>教科・道徳・総合的な学習の時間</u>)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>学習する意欲が高まったと実感できた生徒を70%以上にす。</u> ・授業評価項目「わかりやすい」を90%以上にす 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の課題改善カリキュラムの実践と生徒に結果目標を具体的に持たせ自身の課題への取組をさせる。 ・7月と12月に生徒による授業評価を行う。9月に授業改善推進プラン完成。
アクティブラーニングの定着	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び合い活動」の充実度を80%以上にす。 ・<u>宿題の提出率を90%以上にす。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内推進担当の助言等を活用し、各教科で計画的に指導法の適切な改善を図る。 ・補習・日々の宿題の工夫等と未提出者へのケアによる学習習慣の定着。

主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実

項目	結果目標	行動目標
達成感の体験を通じた自己肯定感の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事や部活動の充実度、及び感動度を90%以上にす ・交流活動・職場体験等の充実度80%以上にす 	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の計画、立案において内容の精選と工夫を図り各学年の指導を充実させる ・体験活動の企画立案において充実度の向上を意識し、確実に実施。

自己実現の意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> 夢や目標の実現を目指そうとする生徒を80%以上にする 社会や集団への貢献度感を80%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育による進路指導を充実させ、生徒自身のPDCAサイクルを育成。 地域行事ボランティア等の社会貢献的な活動への参加推奨を強化する。
主体性と言語表現能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 全生徒が年間3冊以上の読書を達成させる 生徒会活動を主体的に行ったと感じた生徒を80%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> 石東タイムの実施と図書室の充実。毎月の明確な啓発活動を強化する。 総会・選挙・生徒朝礼・専門委員会等の活動内容を精査し負担を軽減しながらも工夫を図り充実させる。

豊かな人間性を育む生活指導

項目	結果目標	行動目標
生活習慣の定着と社会性の修得	<ul style="list-style-type: none"> 「あいいうえお」の実践の達成感を80%以上にする 社会や学校のルールを遵守した生徒を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導部、生徒会の取り組みを中心に全校体制の啓発を強化していく。 主体的に自身の生活を管理・向上させるために生徒会や学級活動を充実。
人間力の育成と健康・食育に対する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝早起き朝ご飯」の定着度を70%以上にする 自身の健康・食育への関心度を90%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより、給食だより、朝礼講話、生徒会活動等での啓発を強化する。 徹底して啓発活動の工夫を実践。学活等でそれを活用した指導を実施。

5 評価方法

評価項目	時期	評価者	評価方法
教育活動全般	12月	学校評議員教職員 保護者、生徒	学校評価アンケート・年度末自己評価 生徒向け学校評価アンケート（授業を含む）公表
授業改善	7月	生徒	各教科授業アンケート
各種行事	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等
各体験学習等	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等

6 特色ある活動の実践

連携校のみならず各小学校との小中一貫教育の確実な実践

「あいいうえお」の学校づくり（あいさつがあふれいじめがなくうつくしくえがおとおもいやりに満ちた）

健全な成長への願いを込めた「フラワーロード」の管理・維持。（学校、生徒会、PTAで）

全教科全生徒による授業評価の実施（7月と1月の年2回）

石東タイムによる朝読書活動（8：25～35の10分間で心を落ち着かせ読書をする）

積極的に道德の時間を公開（道德授業地区公開講座、学校公開日を活用し広くご意見をいただく）

ミニ講演会、親子地域清掃、餅つき大会、職場体験等体験活動の実施（地域・保護者の支援）

「部活動を支える会」の充実（部員の保護者による各部活動の支援）

石東中ならではの学校行事の創造（新たな形と伝統との融合）

いのちの講演会、オリンピック・パラリンピック講演会等外部講師による各種講演会の実施

伝統的スローガン

学 校 「心をひとつに」（校舎屋上に掲示）（みんなで良い学校をつくろうという趣旨）

部活動 「良きプレーヤーである前に良き中学生であれ」（体育館内外掲示）

（運動部・文化部ともに部活動参加にあたっての心構え）

本校の合い言葉

「石東中は未来の私の出発点」

（夢や目標をもって自ら定めた進路先へと巣立っていくための中学校生活だという意識もつために）